

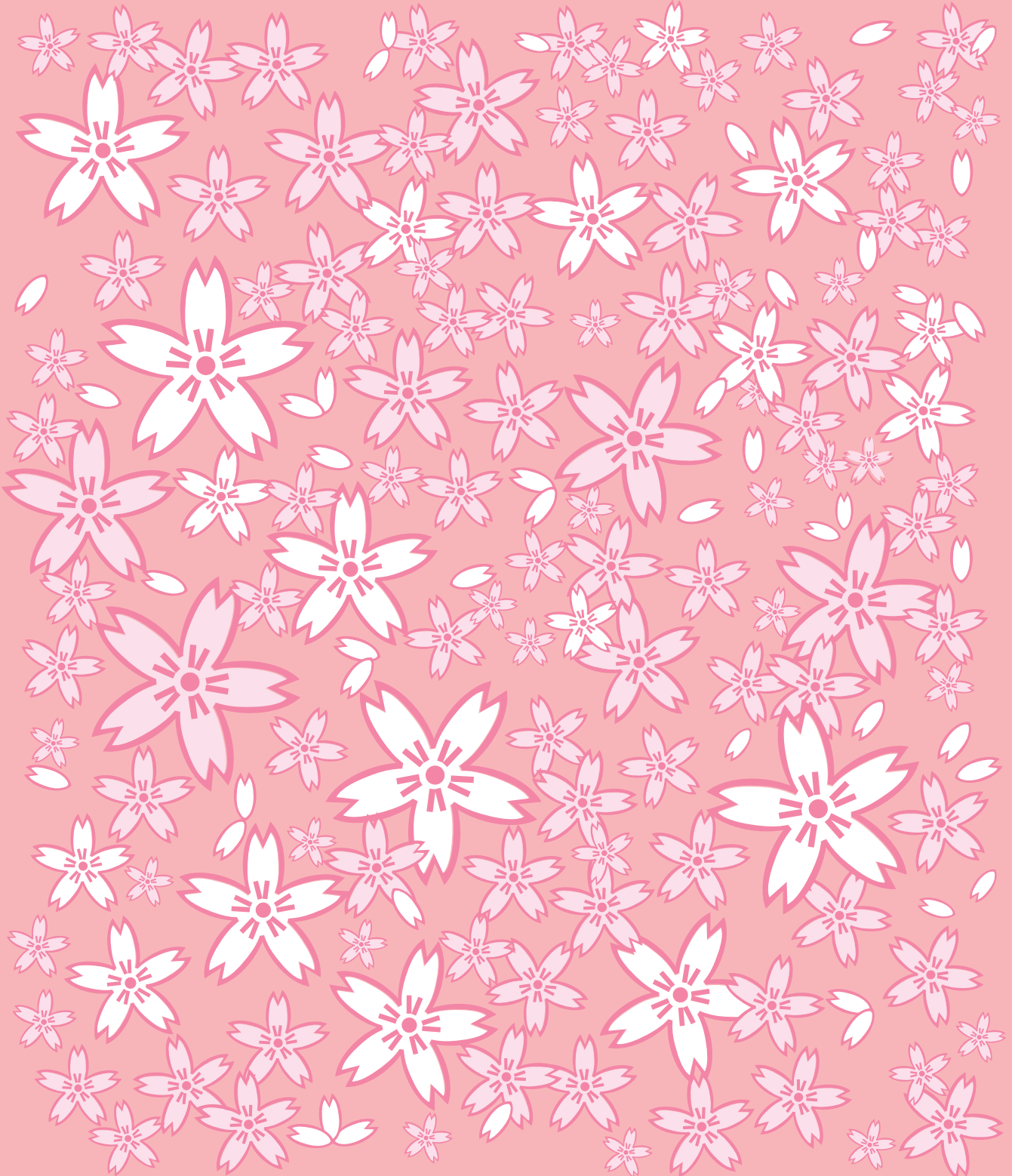
# 会報

春

No.165

2014.4

一般社団法人 北海道電業協会



目 次

|  |       |
|--|-------|
| いよいよ佳境に入った電力システム改革<br>.....北海道経済産業局 電源開発調整官 安岡 研也...       | 1     |
| 平成26年電気関係賀詞交歓会.....  | 2～3   |
| 就任ご挨拶<br>.....北工電気(株)札幌支店 支店長代理 迫田 光慈...                   | 4     |
| 技術講習会「電気設備技術者のためのシーケンス制御の基礎と実用講座」<br>.....                 | 5     |
| 札幌市との災害時協力協定締結.....  | 6     |
| 札幌市都市局との意見交換会.....   | 7     |
| ーシリーズー 1/212だより<br>緑豊かな田園文化のまち～南幌町～<br>.....南幌町長 三好 富士夫... | 8～9   |
| 北海道遺産の歴史とフルーツの里～増毛町～<br>.....増毛町長 石崎 大輔...                 | 10～11 |
| 電設業関連四団体懇談会.....   | 12    |
| 安全衛生パトロール実施報告.....   | 13    |
| 現場からこんにちは.....   | 14    |
| 分離発注訪問記.....   | 15    |
| ーシリーズー「私のいちおし」<br>安達電設(株)<br>代表取締役 関場 憲明.....              | 16    |
| ーシリーズー「ビジネスマンはこれを読め！」<br>(株)久住書房<br>社長 久住 邦晴.....          | 17    |
| お知らせ<br>平成26年度「電気工事施工管理技術検定試験」受験講習会.....                   | 18    |
| 平成26年度「登録電気工事基幹技能者認定講習会」.....                              | 19    |
| 業界だより、理事会.....   | 20    |
| 三役会・委員会報告.....   | 21～22 |
| 事務局日誌.....   | 23    |
| 編集後記   |       |



# いよいよ佳境に入った 電力システム改革

北海道経済産業局

電源開発調整官 安岡 研也

東日本大震災から3年がたちました。

この間、震災と東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を契機に、電力の需給ひっ迫の懸念が度々発生し、多くの電力会社で電気料金が値上げされ、多様な電源活用の必要性が増すなど、これまでの電力システムの抱える様々な限界が明らかになりました。これらに対応するため、以下の3つの目的に向けた電力システム改革に、政府を挙げて取り組んでいるところです。

## 1. 安定供給の確保

東日本大震災以降、原子力発電への依存度が大きく低下し、大半の発電を既存火力に依存する中、分散型電源を始め、多様な電源の活用が不可避となっており、特に出力変動を伴う再生可能エネルギーの導入を進める中でも、安定供給を確保できる仕組みを実現すること。さらに、需要家の選択により需要を抑制したり、地域間の電力融通等の指示を行うことができる仕組みを導入し、需給ひっ迫への備えを強化すること。

## 2. 電気料金の最大限の抑制

原子力比率の低下、燃料コストの増加等による電気料金の上昇圧力の中にあっても、競争の促進や、全国大で安い電源から順に使っていくことの徹底、需要家の選択による需要抑制を通じた発電投資の適正化により、電気料金を最大限抑制すること。

## 3. 需要家の選択肢や事業者の事業機会の拡大

電力会社、料金メニュー、電源等、自由に選択したいという需要家の様々なニーズに多様な選択肢で応えることができる制度に転換し、また、他業種・他地域からの参入、新技術を用いた発電や需要抑制策等の活用を通じて、イノベーションを誘発し得る電力システムを実現すること。

昨年11月、第1段階として、電力の広域運営の

推進を図るため広域的運営推進機関の設立などを柱とする電気事業法改正案が成立しました。

第2段階として小売全面自由化に向け、電気事業を小売、送配電、発電に分類、小売参入の自由化、小売電気事業者の登録制、送配電事業者を3種に分類、一般送配電事業者には供給責任と地域独占や料金規制を維持、等の内容を盛り込んだ電気事業法改正案を準備し、本年2月末に閣議決定され、今通常国会において成立を目指しています。

今後、第3段階として、送配電部門の法的分離、小売料金規制の撤廃(2018~2020年目途に実施)について2015年通常国会に法案を提出することを目指しています。送配電網を誰もが公平に利用できるよう、電力会社の送配電部門を別会社化して、その中立性・独立性を高め、電気料金の規制が原則なくなることとなります。

電力システム改革の進展により、小売、送配電、発電の各部門に、多くの事業者の参入が見込まれます。ともすれば、経済原則による競争環境などの制度面が脚光を浴びていますが、保安面においては、従来と同様、設置者の自主的な責任は変わりません。電気の業界に初めて参入するような事業者も多数現れてくるのは明らかであり、専門家による保安面からの技術的なサポートが欠かせないものと考えられます。

どのような状況においても、北海道電業協会の会員各社をはじめ、多くの関係の電気技術者によるきめ細やかな対応により、保安面での問題を未然に防止することが重要です。大きな時代の変化を迎えておりますが、技術の大切さを肝に銘じて、新たな世界を切り開いていただくことを切にお願いいたします。

## 平成26年電気関係賀詞交歓会

○主催者

(一社) 日本電気協会北海道支部  
北海道電気工事業工業組合  
(一社) 北海道電業協会



○日 時 平成26年 1月10日(金) 11時より

○場 所 札幌グランドホテル 2階 グランドホール

恒例の上記3団体による「平成26年電気関係賀詞交歓会」が1月10日札幌グランドホテルにおいて、多数のご来賓と3団体の会員合わせて320名が出席して開催された。

初めに主催3団体を代表して(一社)日本電気協会北海道支部の佐藤佳孝会長が挨拶された。

佐藤会長はまず、工事業界の皆様方に道民のライフラインである電力の安定供給のため、現場の最前線でご尽力をいただいていることに対して、お礼を述べた後、今年の国内経済などについて触れ「安倍政権の経済政策や円高是正の追い風を受

けて、自動車などの輸出産業は業績の回復が見られるとともに、株高の効果による個人消費の伸びなどから、国内経済全体としては緩やかな回復傾向にあり、道内の景況も持ち直しの動きが見受けられた。一方、東日本大震災関係では、もうすぐ3年の月日が経過となるが、復興の道のりは遠く、今後も国、関係機関、そして我々も支援をしていく取組が必要である。」つづいて、電気事業を取り巻く状況では「昨年9月に国内の原子力発電所が全て停止となった。北海道電力では原子力規制委員会に泊発電所の再稼働に向けた新規制基準適合性確認申請を行い、現在審査が続いているが、新規制基準に基づく初めての審査のため、時間がかかっており、原子力規制委員会の確認が得られる時期については、不透明な状況が続いている。この間、火力燃料費の増加などから収支・財務状況が悪化しており、9月から料金値上げを実施させていただいた。皆様には、ご迷惑をおかけしている。このまま原子力発電所の再稼働が困難な場合は、今後も需給ひっ迫のおそれが払拭されず、更なる電気料金の上昇を招き、ひいては産業の空洞化、雇用問題など、日本経済に大きな影響



挨拶 佐藤会長



乾杯 尾池理事長

を及ぼすことが懸念される。我々としては、安全確保を大前提に一日も早い泊発電所の再稼働が必要である」として一層の理解と支援を訴えた。また、節電協力について「泊発電所が全基停止している中で、厳しい需給状況が続いている。安定供給の確保に努めているが、火力発電設備や北本連系設備のトラブルがおりうることを考慮すると楽観視することはできないものと考えている。昨年夏は、数値目標のない節電要請となったが、この冬は、平日の夕方から夜間にかけて2010年度比6%以上の節電と計画停電回避緊急調整プログラムの契約をお願いしており、ご不便とご迷惑をおかけし誠に申し訳ない」と理解と協力を述べた。さらに、政府のエネルギー政策について「エネルギー基本計画案で、原子力は基盤となる重要なベース電源と位置付けられ、将来にわたり一定程度活用する方針が示され、今月中にも閣議決定されると聞いている。電力小売参入の全面自由化や発送電分離などを含む電力システム改革の議論も進められ、昨年11月にはその第一弾として、広域

的運営推進機関の設立を定めた改正電気事業法が成立するなど、電気事業は転換期を迎えている。我々は今後とも、原子力・エネルギー政策の議論の動向や電力小売の全面自由化に適切に対応していきたい」と考えを強調した。

最後に「平成26年の事業環境は、引き続き大変厳しいが、国民生活、産業活動における電気エネルギーの重要性は、変わるものではなく、安心・安全な電気の供給は我々電気関係業界の使命でもある。これまで以上に、電気工事技術の向上と安全・確実性の確保に努めて道民から信頼される事業者として、この難局を共に乗り越えて、飛躍につながる一年としたい」と挨拶した。

この後、北海道電気工事業工業組合の尾池一仁理事長の乾杯で交歓会が始まり、テーブルのあちこちで名刺交換や歓談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れるほどの賑わいであった。最後に当協会の大房孝宏会長の一本締めでお開きとなった。



お開き 大房会長

## 就任ご挨拶



北工電気(株)札幌支店  
支店長代理

### 迫 田 光 慈

陽春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。

げます。

この度、前支店長の野中邦雄の後任として、札幌支店の支店長代理という役職ではありますが、支店の責任者となりました迫田光慈でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。

当社は戦後まもない昭和21年7月、札幌市において北海道大学工学部の同窓生を中心に創業いた

しました。

今般、建設業を取り巻く時代の変化は激しいですが、私たちはそれに遅れることなく日々新しい技術力と一層の努力で邁進する所存でございます。

私は昭和60年札幌支店に入社以来、技術職25年、営業職3年勤務してまいりました。これまでは皆様との交流も少なく、協会への貢献度も希薄で心苦しいものもありますが、今後は皆様のご指導、ご鞭撻をいただきながら微力ではありますが、協会ならびに業界の繁栄に最善を尽くす所存でございますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈願申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



## 技術講習会「電気設備技術者のためのシーケンス制御の基礎と実用講座」



平成26年2月7日(金)午後1時30分より、札幌市内の北海道電気会館502会議室において「電気設備技術者のためのシーケンス制御の基礎と実用講座」の講習会を開催し、受講者は会員企業の工事実務担当者48名の方々が参加した。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の樋口雄一副会長から、最近の電気工事業業界を取り巻く状況に触れ「日本経済が、昨年後半から業績の回復がみられ、国内全体としては緩やかな回復傾向にある。また、2020年の東京オリンピック開催による経済効果も見込まれる。今後さらに公共事業や設備投資に好影響を与えるものと期待している。いずれにしても、電気工事業界にとってはまだまだ厳しい状況が続くが、技術力の向上、安全作業の継続など、我々のできることを確実に実行して、お客さまの安心安全に答えていかなければ

ならない」と挨拶された。

講師には、北海電気工事(株)電設工事部部長代理の今野正章氏が(一社)日本電設工業協会本部から派遣された。

講習会では、(一社)日本電設工業協会が発行されたテキストと講師作成のパターンごとのシーケンス図を使い、展開接続図に使用する文字・機器記号、書き方からシーケンス動作についてわかりやすく解説された。

今野講師からはシーケンス図はペンなどで何度もなぞってとにか理解することが重要とアドバイスされた。

受講者は、テキストやシーケンス図を何度も見ながら、熱心に講師の話に耳を傾けて重要なポイントを学んでいた。



開講挨拶 樋口 副会長



講師 今野 氏

## 札幌市との災害時協力協定締結



当協会は平成26年1月29日(水)、市役所本庁舎において、札幌市、設計関連2団体、建築関係6団体と災害時における市有施設の被害状況調査・復旧に関する協力協定を結んだ。

地震や洪水などで市有施設が被害を受けた場合、応急修理などに協力するための必要な事項を定めた内容で、当協会からは中野章副会長と小川孝樹専務理事が出席し上田文雄札幌市長と協定書に署名した。



上田市長は「東日本大震災などを教訓に危機管理の重要性が増している」として、「災害時に拠点となる市有施設をいち早く立て直し、業務を再開するためにこの協定が役立つと確信している」と挨拶をされた。

関係団体を代表して北海道建築士事務所協会の

川幡宏一支部長は「災害時の業務遂行のため今後も札幌市と協議を進める」さらに札幌建設業協会の岩田圭剛会長は「早期復旧という重い責任を果たすため、できる限り対応する」と述べた。

### 協定締結団体名

#### ○被害調査担当

- ・(一社)北海道建築士事務所協会札幌支部
- ・(一社)北海道設備設計事務所協会

#### ○応急復旧担当

- ・(一社)北海道電業協会
- ・(一社)札幌建設業協会
- ・札幌中小建設業協会
- ・札幌電気工事業協同組合
- ・(一社)札幌空調衛生工事業協会
- ・札幌市管工事業協同組合





## 札幌市都市局との意見交換会



当協会と（一社）北海道空調衛生工事業協会との共催で平成26年3月12日（水）北海道電気会館において、札幌市都市局幹部の方々のご出席をいただき、意見交換会を開催した。

当協会と北海道空調衛生工事業協会からそれぞれ会長、副会長、理事ら合わせて23名が参加し、札幌市都市局建築部からは芝富士夫設備担当部長、曾我英一電気設備課長、佐藤之則機械設備課長が出席された。



札幌市都市局幹部の皆様

札幌市からの情報提供として芝部長から、平成26年度予算についてふれ「白石区複合庁舎の整備事業、学校改築に合わせた複合関連事業など事業規模も大きく大型事業となっている。また市有施設の保全推進事業も例年並みである。詳細は『平成26年度予算の概要』を札幌市ホームページに掲載しているので参照願いたい。さらに工事発注に対して、不調不落が昨年度に比べて多く発生しているので、これからの発注をどうするか、工事の契約部門や皆様の意見を聞きながら札幌市の対策を検討して行きたいのでご協力をお願いしたい」と挨拶された。

### 【意見交換会の内容は次のとおり】

1. 札幌市からの情報提供
  - (1)札幌市の事業動向と今後の見通し
  - (2)入札契約制度
  - (3)その他
2. 要望事項
  - (1)分離発注の継続について（継続事業）
  - (2)安定的な工事量の確保について



## 緑豊かな田園文化のまち～南幌町～

南幌町長 三好 富士夫



### 【南幌町の紹介】

石狩平野の、ほぼ中央部に位置し、総面積が81.49km<sup>2</sup>。札幌圏から、車で約40分と近いにもかかわらず、自然が豊かな田園風景が広がる町です。

地理的特色としては、山ひとつなく、平坦であり、年平均気温は6.9度。1年を通じて晴天の日が多く、稲作に適した気象条件となっています。

経済的特色としては、基幹産業である農業は、平坦地としての有効性を最大限に生かし、水稻を中心とした大規模経営を展開しており、冷涼な気候を生かし、農薬の使用量を減らすなど、人や環境にやさしい、クリーン農業にも取り組んでいます。

また、生でも食べられるトウモロコシ「ピュアホワイト」の生産をはじめとする、農業のブランド化や地元農産物を使用した「キャベツキムチ」などの加工品の生産にも力を入れています。

### 【稲わらペレットの取り組み】

南幌町では、平成19年2月に「南幌町地域新エネルギービジョン」を策定し、町内のバイオマスなどのエネルギー量や利用の可能性について検討しました。その結果、稲わらなどの農業系バイオマスが利用できるエネルギーとして一番多いことが分かりました。

また、平成21年に農業系バイオマスの利用につ



稲わらペレット

いて詳細な検討を行い、稲わらをペレットとして利用することとしました。

#### ・なんぼろ温泉にペレットボイラーの導入

平成23年3月になんぼろ温泉ハート&ハートに、稲わらペレットを燃料とするペレットボイラーを導入し、本館の給湯（シャワー、カーンなど）のお湯を作っています。稲わらはケイ素が多いことから焼却灰が固まる性質があります。そのため、現在は木質ペレットと稲わらペレットを1対1の割合で混合して使用しています。



なんぼろ温泉に設置したペレットボイラー

#### ・稲わらペレットを利用したストーブ

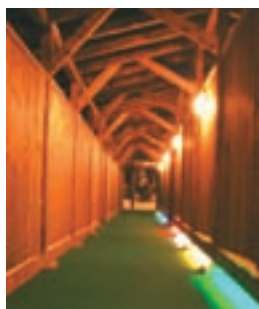
稲わらペレットを利用しているところを皆さんに見てもらい、稲わらが身近な燃料であることを知ってもらえるように、ペレットストーブを、稲わらペレットも利用できるように改良し、役場のロビーに設置しました。



ペレットストーブ

### 【なんぼろ温泉 ハート&ハート】

源泉かけ流しのぬくもりを、体の芯から堪能いただけます。ハートも喜ぶゆとりの温泉内には、道内でも数少ないラドン泉をはじめ、露天風呂や香り湯、サウナなど、のんびりできる魅力がいっぱい。七色の回廊を抜けると、南幌湯けむりの旅が始まります。



充実の宿泊施設もあるので、地元の食材を使った旬の料理を味わいながら、心ゆくまでゆっくりくつろぐことができます。



なんぼろ温泉ハート&ハート

### 【キャベツは芯まで愛せよ】

キャベツの甘みとピリリと辛い本場韓国産唐辛子、二つの素材の旨味が融合したヒット作キャベツキムチを中心に、冷麺やラーメン、餃子など、様々なキャベツシリーズが登場。なんぼろ温泉の名物として知られる「キャベツ天井」も一度はト



キャベツキムチ



キャベツ天井



キャベツキムチ餃子

ライしてみる価値あり。南幌町でキャベツ三昧を味わっててください。

### 【ピュアホワイト】

全国に先駆けて生産し南幌発祥とも言えるサラダ感覚で生で食べられ、とても甘くて白いとうもろこしです。土づくりからこだわった畑に農薬を一切使わず有機肥料をたっぷり与え、北海道の冷涼な気候と昼夜の寒暖差が甘味をさらに凝縮させます。そして一本のとうもろこしの株からもっとも美味しいとされる一番果のみを収穫しています。また、ピュアホワイトを凝縮したミルクのような白いスープも登場。子どもから大人まで大変人気のある南幌町の特産品です。



ピュアホワイト

### 【南幌彗星】

#### ・焼酎

焼酎造りが盛んな熊本県多良木町と南幌町は平成22年に姉妹町を締結。南幌町産の米を使って、多良木町の酒造メーカーに焼酎を造ってもらい数量限定で販売。すっきりしていて、フルーティーな香りが漂う、手作り本格純米焼酎です。

#### ・清酒

南幌町農業協同組合と新十津川町の金滴酒造(株)とのタイアップにより商品化した「南幌彗星」は、手仕込みによる昔ながらの製造方法にこだわり、原料の特徴を生かしたスッキリとした味わいで、主原料は南幌産酒造好適米「彗星」です。



南幌彗星（焼酎・清酒）



# 北海道遺産の歴史とフルーツの里 ～増毛町～

増毛町長 石崎大輔



国定公園 暑寒別岳 (1,492m)

## ■まちの概要

増毛町は、北海道西部の日本海に面し、東西30.2km、南北24.4km、面積369.7km<sup>2</sup>で、38kmの海岸線を有しています。南部にそびえる秀峰暑寒別岳を中心とする暑寒別連峰と、その山裾が日本海の荒波に浸食された奇岩絶壁が続く雄冬海岸は、暑寒別天売焼尻国定公園に指定されています。

交通は、札幌市と留萌市を結ぶ国道231号が海岸沿いに併行し、内陸の北空知とは道道増毛稲田線で結ばれ、札幌市まで約110km、旭川市まで約100kmの距離にあります。

## ■まちの歴史

増毛町の歴史は道内でも古く、江戸時代中期には西蝦夷地の交易場所となり、松前藩の商人村山伝衛兵が増毛場所における交易権を請負、鮭・鯨など海産物の売買が盛んになっていきました。

江戸時代後期には、ロシアの南下政策の脅威から蝦夷地を守るため、幕府の命により津軽藩、秋田藩が越年陣屋、元陣屋を設け、増毛の地を治めました。

鯨の千石場所として栄えた明治時代の増毛は、北海道13市街地の一つに数えられ、明治33年(1900年)には、道内の15カ町村とともに1級町

村制が施行され、増毛町が誕生しました。

## ■北海道遺産「増毛駅前歴史的建物群」と「ふるさと歴史通りの活況」

増毛駅前周辺には、明治期から昭和初期までの歴史的建物が残っています。

平成13年10月には、「増毛駅前歴史的建物群と増毛小学校」が北海道遺産に指定されました。その中で中核的な建物となっていた「旧商家丸一本間家」が平成15年に国重要文化財の指定を受け、増毛町の歴史観光が注目されるきっかけにもなりました。

北海道遺産の指定を契機に、「旧商家丸一本間家」を中心に増毛駅前通り(道道増毛港線)には、多くの観光客が訪れるようになりました。



国重要文化財 旧商家丸一本間家

しかし、多くの観光客が散策する増毛駅前通りの歩道は狭く、段差もあることから、平成15.16年には北海道の事業により、車道の改良ほか、歩道のグレードアップ整備とデザイン照明が設置され、歴史的街並みの魅力アップにもつながり、町では「ふるさと歴史通り」と呼称し、観光スポットとしても着目され始めました。

観光客の増加とともに増毛駅からの約440m区間では、未利用だった古い倉庫、石蔵が街並みの景観に合わせて改修され、新たな飲食店、土産品店などがここ10年間で季節限定を含め10店ほどがオープンしました。

週末や連休などは大勢の観光客が散策するスポットとして賑わいをみせ、平日でも行列ができる人気店もあります。

#### ■最北の果樹園「フルーツの里 ましけ」

増毛町は、北限の果樹園地帯でもあります。暑寒別岳山麓の扇状地には、温暖な気候に恵まれ、夏の「さくらんぼ」から秋の「ぶどう」「洋梨」「りんご」「プルーン」「プラム」などが栽培されています。また、安全なクリーン農業をめざし、土づくりや減農薬栽培などに1998年から積極的に取り組み、「さくらんぼ」「りんご」「洋梨」が北の農産物表示制度（イエスクリーン）」に認証登録されています。



果樹栽培は、明治時代中期から「りんご」の栽培が始まり、現在は暑寒沢地区を中心に30軒の果樹農家があります。増毛町は、昼夜の寒暖差が大きく、水分も甘味もほどよく申し分のない美味しい果物が栽培されています。

平成24年度からは、「フルーツの里 ましけ」プロジェクトを立ち上げ、道内各地の消費地でPR活動を進めています。

#### ■増毛えび地酒まつり

増毛町最大の観光イベントが「増毛えび地酒まつり」です。



増毛えび地酒まつり（国稀酒造前）

増毛町を代表する鮮度抜群の甘えびと日本最北の酒蔵として有名な地酒「国稀」を一度に売り込む一大イベントです。

平成23年度までは、「増毛えびまつり」を毎年5月末に市街地郊外のリバーサイドパークで開催していましたが、物資の輸送や駐車場の確保、地域への経済効果などの課題が多く、観光協会内でイベントの刷新を図る検討会が行われました。そして、平成24年度からは、会場を北海道遺産の街並みが残る増毛駅前周辺のふるさと歴史通りと増毛港周辺へ会場を移し、5月最終土・日曜日に開催しています。日曜日は、「ふるさと歴史通り」の一部を車両通行止めにし、来場者が思い思いに街中を散策し、町内の各商店や団体が出店する増毛グルメを堪能できます。また、増毛港周辺では、甘えびの即売のほか、ホタテを始めとした生鮮魚介類の炭火焼コーナーが設けられ、増毛の海の幸を満喫することができます。

イベント一日目の土曜日には、国稀酒造の鯨千石蔵において、「なごみ酒場」と称して、まつりの夜限定の酒場が開店します。

増毛町でお待ちしています。



増毛町のマスコットキャラクター  
かもめの「マーシー」

## 電設業関連四団体懇談会



平成26年2月20日(木)午後4時から、北電北2条クラブにおいて、当協会、(一社)日本配電制御システム工業会北海道支部、北海道電気資材卸業協同組合、電設資材総合メーカー(東芝・パナソニック・三菱の3社)の4団体による懇談会を開催し15名が出席した。

はじめに、大房孝宏会長から「社員の高齢化と若手入職者の減少によって、技術・技能の確保をどのように継承していくかが喫緊の課題となっている。業界の魅力を協会全体として高めて、優秀な人材を確保していかなければならない」と述べ、「今後とも皆様と連携して、北海道経済を支える産業や道民の生活に必要な重要なインフラである電気設備の設置、保全に取り組みたい」と挨拶された。

続いて嘉部真喜男支部長から「当協会では、優良工場認定制度審査について、ISO取得との違いをお客様の立場で明確にし、ISO品質としての工場認定制度から盤類の性能認証(規格適合)へ審査制度の移行を図る。また、JSIA優良工場の運用システムとして、品質に加え、環境および労働安全衛生の側面を盛り込んだ統合マネジメントシステムの構築を志向している」と現状を紹介し挨拶さ

れた。

次に三神司理事長から、HEMSについて「電気メーカーは単独で家電制御を含むHEMSを推進している。これに対して、他社製品の制御を可能にするための互換性がないため『他社製品が動かない』など消費者からのクレームにつながるものが懸念されている。解決策は製工販のすべてが現状を理解し通信手順の統一が必要である。」と現状を紹介し挨拶された。

引き続きパナソニック(株)エコソリューションズ社北海道営業部の安岡寿部長、東芝ライラック(株)北海道電材営業部 電設営業所の白戸直所長、三菱電機住環境システムズ(株)北海道支社開発営業部の三浦潔部長からそれぞれ業界の現状と今後の見通し・対策等の報告があった。

最後に、当協会の小川専務理事から、平成25年度事業として、人材確保と育成事業や分離発注の推進活動等の重点活動を紹介した。また、会員企業の建設業従事職員数や電気工事受注高等の年間推移について説明した後、意見交換となった。

会議終了後の懇親会では、情報交換の場となり終始和やかな雰囲気の中で終了した。



大房会長 挨拶



嘉部支部長 挨拶  
(一社)日本配電制御システム工業会



三神理事長 挨拶  
北海道電気資材卸業協同組合

## 安全衛生パトロール実施報告



平成26年2月24日(月)技術安全委員会委員による安全衛生パトロールを実施した。

今回の現場は、札幌市中央区北2条西4丁目にて新築工事中の(仮称)札幌三井JPビルディング。

当該建物に隣接している日本生命ビル内に事務所がある(株)きんでんの会議室に関係者9名が集合した。

はじめに岡竹技術安全委員長から「安全パトロールは単一の現場ということではなく、北海道内で働く作業員全体の安全を図るための取り組みであると認識し現場のパトロールで気がついた点は指導願いたい」と挨拶された。



事務局から、安全パトロール点検表に基づき点検担当者を決定。

続いて工事を請負っている(株)きんでんの現場代理人である小野寺幸一さんから工事の概要説明を受けた後、パトロールの注意点など「点検前ミーティング」を行い、工事現場へ向かった。

パトロール現場の主要構造はSRC造り、延べ床面積68,192㎡、低層階が商業施設、中高層階がオ

フィス施設となる地上20階、地下3階建ての建物。設備概要は特別高圧33kV3回線スポットネットワーク受電方式、停電時72時間稼働可能な非常用発電機2,500kVAが1台、500kVAが3台設置されていて、平成24年4月に着工し完成は平成26年8月で進められている。

当日は内装設備と配線作業などが行われていた。パトロールは最初に作業用エレベーターで20階まで登りオフィス用電気室を点検。次に6階まで階段で降りて特別高圧電気室、非常用発電機室、オフィスフロアの作業状況、掲示板やゴミ等の整理、分別状況を確認した後、地下1階まで階段で降りて防災センターの配線工事状況を最後に点検して終了した。

終了後、当協会会議室において、安全パトロール点検表のチェック項目を整理し個別に各委員から点検結果が発表され、概ね良好であることを確認した。

最後に澤田副委員長から「総じて問題なく安全作業が行われており、安全な作業環境作りに努められていた現場である」と総評いただいた。

### 【実施メンバー】

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 技術安全委員長  | 岡竹 俊和 (きんでん)    |
| 技術安全副委員長 | 澤田 博 (三共電気工業)   |
| 〃 委員     | 内山 優 (北弘電社)     |
| 〃 委員     | 太田 英男 (末廣屋電機)   |
| 〃 委員     | 佐々木 勇 (東光電気工事)  |
| 〃 委員     | 小川 恒明 (協信電気工業)  |
| 〃 委員     | 加藤 正志 (旭日電気工業)  |
| 事務局      | 枝並事務局長、類家事務局長代理 |

## 現場からこんにちは



- ・ 工事名称：東札幌小学校改築強電設備工事
- ・ 工事場所：札幌市白石区東札幌4条5丁目4-20
- ・ 工期：平成25年6月17日～平成26年3月14日
- ・ 工事概要：校舎棟：RC造り4階建て、延べ床面積約7,650㎡  
屋内運動場棟：SRC造り平屋建て（一部2階建て）、延べ床面積約1,390㎡の改築に伴う、受変電、幹線、動力、電灯、屋外照明、太陽光発電設備工事
- ・ 発注者：札幌市
- ・ 請負者：橋本電気工事株式会社

東札幌小学校は開校から49年が経ち、老朽化と耐震強度不足のため改築することとなりました。

新校舎は敷地南側のグラウンド部分に建設して、RC造り4階建て、延べ床面積約7,650㎡の校舎棟とSRC造り平屋建て（一部2階建て）、延べ床面積約1,390㎡の屋内運動場棟からなります。

受変電設備は屋外受電柱を建て、埋設管路及びピット内管路にて、6kV60sqのケーブルを新築棟電気室まで敷設。また新築電気室にキュービクル型受変電設備を新設し、電灯及び動力電源を新築棟並びに既設プール棟に低圧電源供給します。

幹線設備は、ケーブルラック、保護管の取付、各種サイズのケーブルを敷設して、動力盤及び各電灯盤に電源を供給します。

動力設備は、電気室の低圧動力盤からポンプ室の別途機械制御盤類、エレベータシャフト内の別途エレベータ盤等に至る、配管・ケーブル敷設・接続を行います。

電灯設備は、新築棟共用部及び各室の照明器具配線器具に至る、配管・ケーブル敷設・接続。照明器具・配線器具の取付を行います。

屋外照明設備は、新築棟屋外のポール型照明器具に至る、管路掘削・配管・ケーブル敷設・接続照明器具の取付を行います。

太陽光発電設備は、新築棟屋上から、接続箱、パワーコンディショナー盤、表示装置、太陽光発

電コンセント盤、電気室（交流終電箱、低圧電灯盤）に至る、配管・ケーブル敷設・接続。結晶シリコン太陽電池30kW、関係機器の取付を行います。

また、近年新設の小中学校は、屋内運動場棟を災害時収容避難施設として使用されるため、停電非常時にも移動用発電機を持ち込み、新設発電機切替盤をかいして、非常専用LED照明器具や非常コンセント設備に電源供給されるよう防災機能強化に工夫が図られています。

取材は1月末に行い、現場の進捗率は70%程度。これから、2月上旬の受電に向け、幹線設備は盤取付結線作業。動力設備は機器廻りの配線結線作業。電灯設備は照明器具・配線器具等の取付作業。太陽光発電設備は屋上に太陽光パネル設置、結線作業を行う予定で、竣工まで残り1ヶ月半、冬期間の厳しい作業環境の中、各種作業が輻輳しながら急ピッチで行われていました。

また、工事現場は現場内での安全作業はもとより、既存校舎と同一の敷地内に併設されるため、生徒や近隣住人へ配慮、対策をしながら工事を進めています。

最後に竣工までの期間、無事故・無災害で施設が完成することを祈願し、新しい校舎で楽しく仲間と遊ぶ子供たちの光景が待ち遠しく思う所存です。

取材 広報委員 木村 賢史、松岡 孝夫



現場代理人 塩垣 秀信さん  
橋本電気工事株式会社



## 分離発注訪問記

当小樽後志電設業協会は、後志総合振興局管内の1市19町村を担当し、毎年区域を4つに分けて分離発注の「陳情要請と御礼」を会長と副会長3名、計4名で手分けして実施しております。

今年度も平成26年1月20日から2月4日にかけて管内全域をくまなく訪問いたしました。

今回の訪問で前回と特に変わった印象はありませんが、各対応窓口の方々の印象として契約事務の量と経費の増加について、一層重みを増している印象を受けました。現在、管内の市町村はおおむね分離発注にご理解をいただいておりますが、一部の自治体では「一括発注」や「一部のみの分離発注」を行っております。また、分離発注の意義や必要性については、ご理解をいただいておりますが、それぞれの自治体の事情もあり全てが分離発注とはなっておりません。しかし今後とも良い方向へ向かうことを信じて、地道な陳情活動を実施して行く所存であります。

さて、私がかねてより面会を打診しておりました岩内町建設水道部の世良光弘部長に面会するため去る2月4日、岩城直人会長に同行して岩内町役場を訪問いたしました。最初に訪問の趣旨を再度ご説明し重ねて分離発注の継続についてお願いしましたところ、世良部長には活動の趣旨を十分

ご理解をいただき、今後も分離発注を基本として工事を発注する旨のご回答をいただきました。さらには「分離発注の持つ意義や、専門工事業者としての維持管理の責任や期待もある」とのことでした。これに対し岩城会長からは、今後とも専門工事業者としての責任を果たし、地域に貢献して行きたい旨を申し上げました。

その後、建設中の岩内町新庁舎の話題や町内外の諸課題、そして公共工事を取り巻く各種の状況等々について懇談し、庁舎を後にしました。

この度の岩内町訪問を振り返ると「分離発注」には、地域を構成する一員としての期待が込められていることと同時に「専門性」についても、高い期待があることを改めて知らされました。今後とも研鑽を重ねながら、各地元自治体の要請にお応えして行かねばなりません。今回は私たちに寄せられたそれら期待の大きさをあらためて再認識した次第です。

この度、お忙しい中ご対応頂きました各市町村の皆様、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、この度の分離発注訪問記とさせていただきます。

記 小樽後志電設業協会事務局 小林正始  
(株)富士電気商会 営業部長



岩内町役場にて建設水道部の世良部長（右）にお願い文書を手渡す岩城会長

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

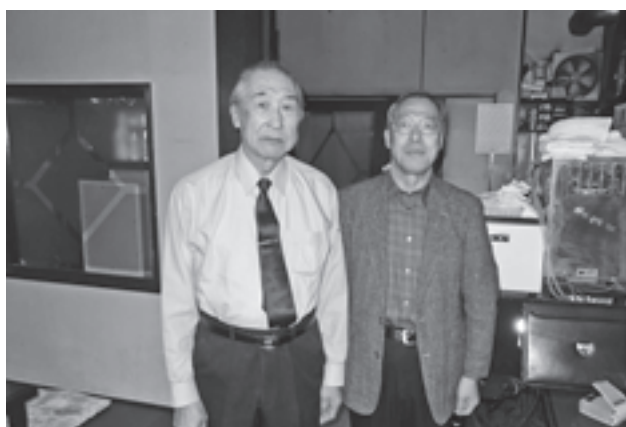
安達電設(株)  
代表取締役 関 場 憲 明



焼とりの提灯が目を引く店構え

皆さんは店名を聞いて「喫茶店」では？と思うでしょうが、実は前身は昭和39年に創業した純喫茶でした。

本物志向の店主の吉中正さんは当時では珍しい自家焙煎機も設置していましたが、時代の流れと共に、平成元年に焼き鳥屋にヒラリと転身を遂げました。



店主の吉中（左）さんと

私は店主の弟と学生時代同級生だった関係で、昭和41年から通っています。(途中25年間は地方出張が多かった為、残念ながら空白ですが)

純喫茶時代から継続しているこだわりがあるようで、店主の吉中さんはワイシャツにネクタイ姿で焼き鳥を焼くと言う、全国的にも珍しい光景にお目にかかれます。

場所は創業当初からススキノ4番街の交差点北側、都通りに面していてJRAウインズの斜め向かいで人通りも多く賑やかなところですよ。

店内は大正モダン風のレトロな雰囲気、常連客や女性客も多く気軽に楽しめる店です。コの字型のカウンターに12席、ボックス席は12席、掘炬燵の小上がりも12席程座れます。

食材は鶏も豚も野菜も道内産にこだわり、中でも手挽きしている、自家製つくねは、ふんわりとした食感がたまりません。溜まり醤油を使うタレには芳醇なコクと香りがあり、塩串には岩塩を使用しているとの事。また焼きオニギリや牛バラ煮込みも実に美味です。



大正モダン風のレトロな雰囲気の内

酒の種類はご子息の浩さんがインターネットで色々探した珍しい銘柄が豊富にあります。私は、以前は焼酎を飲む事が多かったのですが、最近浩さんに薦められて7銘柄あるレア物の「地ウイスキー」を飲んでます。これが実にうまい！

皆さんも是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 店名   | 炭火串焼コロンビア               |
| 住所   | 札幌市中央区南4条西4丁目<br>恵愛ビル1F |
| 電話   | 011-221-7522            |
| 営業時間 | PM5:30~PM11:30頃迄        |
| 定休日  | 競馬の無い日曜日・祝日             |

次回の「私のいちおし」は

西山坂田電気(株) 代表取締役

西山 陽一さん



# ビジネスマンは これを読め!



(株)久住書房 社長 久住 邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め!」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏(北海道書店商業組合理事長)おすすめの一冊をご紹介します。

## 「里山資本主義」



日本経済は「安心の原理」で動く

著者：藻谷 浩介  
NHK広島取材班  
出版社：KADOKAWA  
定価：820円

中央公論新社が主催する、専門家の投票で昨年発行の新書のNO.1を選ぶ新書大賞が発表になりました。

過去に「日本辺境論」や「ふしぎなキリスト教」などが受賞しています。

2014年ベスト5は下記の本です。

- |    |             |       |
|----|-------------|-------|
| 1位 | 里山資本主義      | 藻谷浩介  |
| 2位 | 犬の伊勢参り      | 仁科邦男  |
| 3位 | (株)貧困大国アメリカ | 堤未果   |
| 4位 | 野心のすすめ      | 林真理子  |
| 5位 | 来るべき民主主義    | 國分功一郎 |

どれも話題になり、よく売れた本です。

そして今回おすすめするのは大賞の「里山資本

主義」です。

著者の藻谷浩介さんはベストセラーになった「デフレの正体」の著者です。

「里山資本主義」も現在24万部突破だそうで、よく売れています。それもそのはず、目からウロコのまったく新しい日本経済再生策が提案されている注目の一冊です。

里山資本主義とは“かつて人間が手を入れてきた休眠資産を再利用することで原価0円の経済再生コミュニティ復活を果たす”という夢のような考え方なのです。

ここでいう休眠資産とは里山であり、そこでとれる木材です。まず製材の過程で出る木くずで発電を行うといいます。えっ、その程度で?と思いますが、これがバカになりません。充分、石油の変わりになり、その経済効果は絶大です。

また、オーストリアでは木材利用の技術革新が目ざましく、エネルギー革命が起きているといいます。

今、日本では放置されている山の資源の利用が雇用と所得を生むのです。

我々は2008年のリーマンショックで、それまでのマネー資本主義を疑い、新たな道の模索を始めました。マネーゲームのような「やくざな経済」から「かたぎの経済」へと転換しようとしているのです。そのかたぎのちゃんとした経済が里山資本主義だと著者は言います。

なにも便利な都会暮らしを捨て、田舎暮らしをすすめているのではなく、この本は地方の方には実践的な手引き書として、また、都会の方にとっては生活や価値観を見直し、自らの生活と日本の未来を見つめることが出来る希望の一冊だと思います。

# お 知 ら せ

## 平成26年度「電気工事施工管理技術検定試験」受験講習会

### ○ 1 級学科

#### 【申込受付期間】

平成26年 2月21日(金)から 4月11日(金)まで (定員になり次第締め切り)

#### 【申込方法】

一般財団法人 地域開発研究所ホームページから (<http://www.ias.or.jp>)

- ・方法1～直接申し込みができます。
- ・方法2～FAX申込用紙をプリントアウトして申し込みができます。
- ・方法3～講習会案内書に同封の郵便払込書用紙で、最寄りの郵便局から申し込みができます。

#### 【開催日】

平成26年 4月21日(月)～ 4月22日(火) 2日間 (開催地：札幌)

#### 【開催場所】

一般財団法人 北海道開発協会 会議室

(札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル 6F 電話011-709-5211)

#### 【学科試験日】 平成26年 6月 8日(日)

### ○ 1 級実地

#### 【申込受付期間】

Aコース (1日+添削指導) 平成26年 7月25日(金)から 8月 1日(金)

Bコース (1日) 平成26年 7月25日(金)から 8月22日(金)

(定員になり次第締め切り)

#### 【申込方法】 1級学科に同じ

#### 【開催日】

平成26年 9月 1日(月) 1日間

#### 【開催場所】

一般財団法人 北海道開発協会 会議室

(札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル 6F 電話011-709-5211)

#### 【実地試験日】 平成26年10月19日(日)

## 平成26年度「登録電気工事基幹技能者認定講習会」

### 【申込受付期間】

平成26年8月1日(金)から8月29日(金)まで

### 【開催日】

平成26年10月25日(土)～10月26日(日) 2日間

### 【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区大通東3丁目)

### 【受講資格者】

(1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

- ①電気工事の直接施工業務に従事して、該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があること。
- ②労働安全衛生法第60条による建設業としての職長教育（施行令第19条、施行規則第40条）を修了して、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者。
- ③第一種電気工事士免状を取得していること。

(2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する。

- ①実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実と相違がない旨の誓約書（署名、捺印）が必要。
- ②第1種電気工事士免状の写し、また職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育終了証の写しを添付する。

### 【受講料】

18,500円（受講料には、受講費、教材費、認定関係費が含まれます）

9,250円 平成24・25年度の認定講習会・試験で不合格通知を受け、試験のみ受験する者。

### 【申込方法】

所定の申込用紙により（一社）日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、（一社）日本電設工業協会のホームページからダウンロード願います。

### 【電気工事基幹技能者の認定・特典】

認定講習を受講し、終了査定（試験）に合格した者は、「登録電気工事基幹技能者」として認定され、（一社）日本電設工業協会会長から「登録電気工事基幹技能者証」が交付される。また、建設業法第27条の23第3項経営事項審査の項目及び基準を定める件（国土交通省告示第85号機関技能者関係）により登録基幹技能者は技術職員の加点として3点が、平成21年度より認められることになった。

## 業界だより

### 【法人職務執行者の変更(平成26年1月10日付)】

○北工電気(株)札幌支店

(新) 支店長代理

迫田 光慈

(旧) 支店長

野中 邦雄

### 【所在地・連絡先の変更(平成26年1月27日付)】

○東光電気工事(株)北海道支社

(新) 札幌市中央区北1条西3丁目3番22号

STV時計台通ビル8階

TEL 011-252-9901 FAX 011-252-9904

(旧) 札幌市中央区南7条西6丁目423

TEL 011-511-9246 FAX 011-531-8544

## 理事会・委員会報告

### || 理 事 会

◇平成26年1月23日(木) 12:00~13:30

#### 第6回議題

##### 【協議事項】

1. 平成25年度電設業関連4団体懇談会の開催について
2. 平成27年度電設協会員大会(北海道支部)の開催に向けて
3. 平成26年電気・空衛連絡協議会の活動について
4. 平成26年度の会費収入と収支予算案の策定について

以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 平成25年度技術講習会の開催について
2. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告について
3. 札幌市との災害時協力協定の締結について
4. 平成26年電気関係賀詞交歓会収支報告について
5. 平成25年度北海道赤レンガ建築賞表彰式への出席について
6. 代表者の変更について
7. 企業会員の所在地等の変更について
8. 札幌弱電設備業協組通常総会終了後の発足35

周年記念祝賀会のご案内について

9. 平成26年1月~3月行事予定について

10. その他意見交換

入札不調等に関する札幌開発建設部等との情報交換

以上概要を報告(小川専務理事)

◇平成26年3月28日(金) 12:00~13:30

#### 第7回議題

##### 【協議事項】

1. 協会第48回電設協道支部第58回定時総会までのスケジュールについて
  2. 役員の一部改選への対応(案)について
  3. 電業協会第48回定時総会付議事項について
  4. 電設協道支部第58回定時総会付議事項について
  5. 平成25年度第2回運営協議会の開催について
  6. 電設協第64回定時総会での理事及び諮問委員候補者の推薦について
  7. 平成27年度電設協会員大会(北海道支部)の開催に向けて
- 以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 電業協会功績表彰者の推薦について
2. 平成26年度「技術・安全衛生基礎教育講習会」の開催について

3. 本部第254回政策委員会の概要報告について
4. 平成25年度下期本部・支部事務連絡会議の概要報告について
5. 平成25年度技術講習会の開催結果について
6. 平成26年4月～5月行事予定について
7. その他意見交換会  
以上概要を報告（小川専務理事）

## || 三 役 会

◇平成26年1月14日(火) 12:00～13:00

### 第10回議題

1. 平成25年度電設業関連4団体懇談会の開催
2. 平成25年度技術講習会の開催について
3. 平成27年度電設協会員大会（北海道支部）の開催に向けて
4. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告
5. 本部・支部事務連絡会議の開催
6. 北海道設備設計事務所協会平成26年新年交礼会への出席
7. 札幌商工会議所正副部会長就任式、正副分科会長・部会常任委員委嘱式、会員表彰式への出席
8. 代表者の変更
9. 平成26年1月～2月の行事予定
10. その他意見交換  
・札幌市との災害時協力協定の締結  
・入札不調等に関する札幌開発建設部等との情報交換（経営委員会対応）

◇平成26年2月20日(木) 15:00～15:50

### 第11回議題

1. 電設業関連4団体懇談会の開催
2. 平成25年度下期本部・支部事務連絡会議の報告  
〔平成26年定時総会改選期の「理事及び諮問委員等の定数」〕
3. 平成25年度第2回運営協議会（地区代表者会議）の開催

4. 平成26年度技術・安全衛生基礎講習会（新人研修）の開催
5. 平成25年度技術講習会の開催結果報告
6. 北海道空調衛生工事業協会定時総会（札空衛併催）後の懇親会
7. 平成26年電気記念日表彰式典への出席
8. 安全パトロールの実施
9. 平成26年2月～3月行事予定
10. その他意見交換

◇平成26年3月11日(火) 12:00～13:00

### 第12回議題

1. 役員の一部改選の対応
2. 定時総会（協会第48回、支部58回）・懇親会までのスケジュール
3. 平成25年度電業協会功績表彰者の推薦
4. 平成26年度収支予算（案）について〔電業協会・電設協道支部〕
5. 電気空衛連絡協議会及び幹事会の開催
6. 札幌市都市局と電気・空衛連絡協議会との意見交換会の開催
7. 北海道設備設計事務所協会と電気・空衛連絡協議会との意見交換会の開催
8. (一社)北海道建築士事務所協会の定時総会意見交換会のご案内
9. (一社)北海道建築士会の定時総会懇親会のご案内
10. 平成25年3月～4月行事予定
11. その他意見交換

## || 総務委員会

◇平成26年3月7日(金) 12:30～14:00

### 第4回議題

1. 総務委員会の平成25年度事業実施状況及び平成26年度事業計画
2. 平成26年度収支予算（案）
3. 定時総会、懇親会スケジュール（案）
4. 平成25年度北海道電業協会功績表彰者の推薦
5. 平成27年度電設協会員大会（北海道支部）準

備委員会の立上げ

6. 平成25年度下期本部・支部事務連絡会議の概要（報告）
7. 平成26年度技術・安全衛生基礎講習会の開催
8. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成26年1月30日(木) 12:00～13:30

### 第5回議題

1. 第4回議事録（案）の承認
2. 電設協第253回本部政策委員会の開催概要
3. 災害時協力協定の締結式
4. 電設業関連四団体懇談会
5. 平成26年電気・空衛連絡協議会の活動
6. 札幌開発建設部との情報交換

◇平成26年3月24日(月) 12:00～13:30

### 第6回議題

1. 第5回議事録（案）の承認
2. 電設協第254回政策委員会の開催概要
3. 平成25年度経営委員会事業活動状況
4. 平成26年度経営委員会事業計画
5. 本部・支部事務連絡会議の報告
6. その他意見交換

## 広報委員会

◇平成26年3月19日(水) 15:00～17:00

### 第4回議題

1. 平成25年度事業実施状況
2. 平成26年度事業実施計画
3. 会報「夏号」の編集方針（案）
4. 会報「春号」の校正
5. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成26年3月13日(木) 12:00～13:00

### 第4回議題

1. 平成25年度技術講習会の実施報告
2. 平成25年度安全パトロールの実施報告
3. 平成25年度技術安全委員会事業実施報告
4. 平成26年度技術安全委員会事業計画（案）
5. 各種講習会等のお知らせ
  - ・平成26年度「技術・安全衛生基礎教育講習会」(新人研修)
  - ・平成26年度電気工事施工管理技士受験準備講習会（1級学科・実施）
  - ・平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
6. その他意見交換

## 厚生委員会

◇平成26年3月12日(水) 16:30～17:00

### 第2回議題

1. 平成25年度各部会行事実施報告
2. 平成26年度各部会実施計画
3. 平成26年度予算（案）
4. その他意見交換



## 事務局日誌

- 1月7日(火)・官公庁新年挨拶  
 9日(木)・本部電設協賀詞交歓会  
 (東京)大房支部長他  
 10日(金)・電気関係賀詞交歓会  
 (札幌グランドホテル)大房会長他  
 14日(火)・第10回三役会議  
 21日(火)・札商設備部会役員  
 就任式・表彰式  
 (札幌パークホテル)小川専務  
 22日(水)・北海道設備設計事務所協会  
 新年交歓会  
 (京王プラザホテル)山口副会長  
 23日(木)・第6回理事会・常議員会  
 ・本部政策委員会  
 (東京)山口理事  
 29日(水)・本部常任理事会  
 (東京)大房支部長  
 30日(木)・第5回経営委員  
 2月3日(月)・北海道レンガ建築賞表彰式  
 (道庁赤レンガ)小川専務  
 6日(木)・本部・支部事務連絡会議  
 (東京)小川事務局長  
 7日(金)・技術講習会  
 (電気会館)樋口副会長他  
 18日(火)・建設業における構造改善推進懇談会  
 (道庁)小川専務  
 20日(木)・第11回三役会議  
 ・電設業関連四団体懇談会  
 (北電北2条クラブ)大房会長他  
 25日(火)・安全パトロール  
 岡竹技術安全委員長他  
 26日(水)・北海道空調衛生工事業協会  
 総会・懇親会  
 (ホテルさっぽろ芸文館)中野副会長  
 28日(金)・歌唱部会  
 3月5日(水)・札幌弱電設備業協同組合  
 総会・発足35周年祝賀会  
 (ホテルライフオート)山口副会長
- ・ゴルフ部会幹事会  
 7日(金)・第4回総務委員会  
 11日(火)・第12回三役会議  
 12日(水)・電気・空衛連絡協議会幹事会  
 (電気会館)山口副会長他  
 ・札幌市都市局と電気・空衛連絡協議  
 会との意見交換会  
 (電気会館)大房会長他  
 ・電気・空衛連絡協議会  
 (電気会館)大房会長他  
 ・第2回厚生委員会  
 13日(木)・第4回技術安全委員会  
 14日(金)・本部政策委員会  
 (東京)山口理事  
 19日(水)・本部運営委員会  
 (東京)大房支部長  
 ・第4回広報委員会  
 20日(木)・北海道設備設計事務所協会と電気・  
 空衛連絡協議会との意見交換会  
 (電気会館)大房会長他  
 24日(月)・第6回経営委員会  
 25日(火)・電気記念日講演会・祝賀会  
 (札幌グランドホテル)枝並事務局長  
 26日(水)・本部理事会  
 (東京)大房支部長  
 28日(金)・第7回理事会・常議委員会  
 ・第2回運営協議会  
 (兼地区協代表者会議)

## 一般社団法人 北海道電業協会活動スローガン

1. 電気設備工事業界の将来を担う優秀な人材を確保するとともに、技術・技能の継承を促進し、将来に繋がる人材を育成しよう
2. 適正な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう
3. 地球環境保全を推進し、安心・安全な社会を実現するため、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組もう
4. 品質と価格の透明性を確保するとともに、対話を通じて顧客満足度の高いサービスを提供するため、分離発注を強力に推進しよう

### 編集後記

今回は、北海道経済産業局の電源開発調整官安岡研也様に「いよいよ佳境に入った電力システム改革」という巻頭言を書いていただきました。スケジュールを含め具体的なお話で、我々電気に携わるものとして、大変参考になるお話だったと思います。

さて、本号は春号です。この号を編集している今はまだ寒く、雪の多い日が続いていますが、皆様のお手元に届くころは、温かくもなり、動きやすい時期だと思っています。

本号が皆様に元気を与えてくれれば幸いと思いながら、編集いたしました。

広報委員長 萩本 哲夫





発行 平成26年4月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区南1条東1丁目3番地  
パークイースト札幌6階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp